

■ 文部科学省情報ひろばにて関西大学の多角的な研究活動を紹介 ■
「古代エジプトの文化財の修復と研究」の企画展示
～異文化理解と文理融合型の複合的・総合的研究の取組～

関西大学はこのたび、文部科学省ミュージアム「情報ひろば」において、下記のとおり、古代エジプトの文化財の修復と研究をテーマに、企画展示を開催いたします。

本学は、古代エジプト時代の最大の墓域であるサッカラの世界遺産にある「イドゥートのマスタバ墓」（紀元前2360年頃）を中心に調査を行っています。王女の墓として丁寧な作りがなされ、エジプト最古の代表的な墓の一つである同墓は、4000年の経年の中で劣化し、特に地下埋葬室の美しい壁画は、危機的な状態にあります。

こういった状況を受け本学は、高い水準にある日本の文化財科学の技術を用いるとともに、地盤工学や建設工学、抗菌抗黴（かび）学、化学分析をはじめとする様々な技術を結び付け、エジプト文化財の保全に取り組んできました。さらに、エジプト人の文化財専門家に加え、石の建造物や壁画修復に経験豊かなポーランドの専門家を招へいし、技術の開発と応用が可能となるよう、国際的なネットワークの構築を行っています。

今回の企画展示では、エジプト学を中心とした異文化理解とともに、様々な技術を結び付けた文理融合型の複合的・総合的な研究を紹介します。従来の歴史的、考古学的観点に加え、文化財の劣化過程やその原因の解明を行い、対策がどのようにされるべきかという新たな視点から、科学的見地と国際感覚を涵養（かんよう）することを目的としています。

記

1 期 間：2013年12月～2014年3月

2 場 所：文部科学省 情報ひろば「企画展示室」

（東京都千代田区霞が関3-3-2 旧文部省庁舎3階）

※詳細につきましては、下記文部科学省 Web サイトを御参照ください。

<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/index.htm>

3 展示内容：

（1）調査遺跡の3次元動画

墓の概要を3次元映像で解説、壁画修復過程をスライド写真動画で分かりやすく解説します。

（2）古代壁画のレプリカ展示

4000年前と同じ技法で壁画を復元。古代エジプト壁画の雰囲気を実感してください。

（3）パネル

海外の文化財を対象にした本学の文理融合型の多様で多角的な研究活動を紹介します。

以 上

この件に関するお問合せ先

関西大学 広報室広報課 担当：依藤、石田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0075 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp